

# 学修成果をどのように 授業改善・カリキュラム改善に 結びつけるか

教学マネジメントを進める上では、学修成果指標にもとづいて学生の学修成果を的確に把握することと並んで、学修成果を踏まえていかに授業改善・カリキュラム改善を行っていくかが大きな課題となります。

本講演会では、全国の大学の教学マネジメントの実情と課題を熟知しておられる河本達毅先生（桐蔭横浜大学副学長・事務局長）を講師としてお迎えし、学修者本位の大学教育への転換を図る上でのポイントを、具体的にお話しいただきます。

皆様の参加をお待ちしております。



かわもと たつき  
河本 達毅 先生

## 講師紹介

桐蔭横浜大学副学長・事務局長

略歴：東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース修士課程修了。大学職員を経て文部科学省に転籍。

高等教育局大学振興課にてFD・SD、3ポリシーやAP事業、専門教育課にて大学教育のDX等を担当。

2021年より桐蔭横浜大学に着任。

2022年より現職。

開催日時：

令和6年11月27日(水)

教授会終了後

1時間程度（50分講演、10分質疑応答）

場所：

第一会議室

（教授会終了後15分程度休憩の後開始予定）

参加対象：

本学教職員

開催方法：

対面参加のみ

（後日オンデマンド配信予定あり）